



2回目となる高校生議会を開催。高校生、議員、町職員がまちづくりについて議論しました。(2月8日 撮影)

ひろお 議会だより

No **185**

2018年3月1日発行



平成30年は
広尾町開町150年

【平成29年第4回定例会】

各種料金・サービスを見直し 行政改革を実行 **2**

一般質問 (4人が登壇)

／人口問題／就学援助／不育症 **9**

国保
病院 **経営形態見直しを検討** 特別委員会を設置 **18**

議員活動の自己評価を実施 **19**

○発行・編集／ 広尾町議会・議会広報特別委員会 E-mail g-gikai@town.hiroo.lg.jp
〒089-2692 北海道広尾郡広尾町西4条7丁目 TEL 01558-2-0180 (議会直通) FAX 01558-2-2114

平成29年 第4回 定例会

12/5～8

サービスを見直し

行政改革実行で、町民生活にも大きな影響

平成29年第4回定例会は、12月5日（火）から8日（金）までの4日間の会期で開かれました。専決処分承認、第5次行政改革の実施に伴う条例の改正、補正予算などが提案され、本会議・委員会での審議の結果、全議案を原案のとおり承認・可決しました。

※議案の賛否は7ページに掲載

本定例会では、第5次行政改革の取り組みにかかる条例改正が多く提案されました。

敬老祝金や水道料ほか各種料金の見直しなど、町民生活に大きな影響を及ぼす改正が多かったことから、多くの質疑・討論が交わされました。

改正内容については、町広報11月号、町ホームページ、議会速報36号などで既に紹介されていますので、ここでは質疑・討論の内容についてお知らせします。
※内容は要約・抜粋したものとさせていただきます。

管内平均の 支給水準に

敬老祝金

問 毎年楽しみにしている人も多くいる。バツサリと切り捨てるのではなく、段階的実施など配慮が必要だったのではないか。

高齢者の貧困率は高い状況であり、なぜこういう提案となったのか。大

幅な削減は町民に理解されるのか。

答 総合的に検討し、管内平均の水準に改正することとした。町民への説明会ではやむなしの

意見も多かった。他の福祉サービス制度を維持継続していくため、断腸の思いで決断したことをご理解いただきたい。

各種 使用料

消費税を内税から 外税方式へ

問 今まで内税だったものを、なぜ外税化するのか。

答 今までは利用者負担を増やさないという考えで内税としていた。今回行革を実施する上で、住民にも適正な負担を願

いたいという趣旨で改正した。
問 町は消費税を国に納めているのか。
答 法律上は納税義務者だが特例が適用され、納税義務は発生していない。

討 論

反 対

旗手恵子議員

高齢者への影響大

町財政が厳しいとはいえ、年間4000万円を超える削減は大きすぎる。高齢者の不安だけでなく、町内商店の売り上げにも影響が出ることは免れない。

住み慣れた地域でいつまでも住み続けられるための施策は必要であることから、本案に反対する。

賛 成

浜頭 勝議員

財政健全化は必須

今後の高齢者福祉推進のためにも財政健全化は必須であり、制度存続にはある程度の見直しが必要。幅広く町民への説明を行い、一定程度の理解も得ている。

まちの将来を見据えた時、改正内容はやむを得ないと考え、本案に賛成する。

討 論

反 対

前崎 茂議員

変更の意味が希薄

町は国へ消費税を納めていない。内税から外税に変更する意味が希薄であり、住民に対し真摯に向き合う姿勢が求められることから、本案に反対する。

賛 成

浜頭 勝議員

適切な利用者負担を

消費税を利用者に適切に負担してもらい、収入の確保を図るものであり、本町の財政状況からもやむを得ないものと考え、本案に賛成する。



毎日の生活に欠かせない水道料金も値上げに

各種料金

上下水道 簡易水道 使用料

超過料金を値上げ

農家用は4年の経過措置

下水道

問 この10年で料金収入は変わらず、一般会計からの繰入金も4割減。起債残高も12億円減っている。年々歳出は減少傾向にあるが、平成30年度

の予算規模は。

答 約4億円を予定。費用に収入が追いついていないのが現状。経営を考えると現在8800万円の収入を1億円に近づける形としたい。

問 改正後の料金は管内2番目となる。行革による料金値上げ、サービスマン削減は町民生活に大きく影響するが。

飼養頭数の多い農家は町内に6件ほどあり、年間最大100万円支払っている。今回の改正で2倍の200万円になる。

答 見直しはトータルで考える必要がある。住民の生活を守ることが務めであり、広尾町の将来を考えて町民にもご協力をお願いしたい。

簡易水道

問 農家用の超過料金が1.50円から経過措置はあるが100円と倍になる。年間の負担増はいくらになるのか。

答 飼養頭数の多い農家は町内に6件ほどあり、年間最大100万円支払っている。今回の改正で2倍の200万円になる。

問 酪農家にとって影響は大きい。どのように周知するのか。

答 農家用がほぼ大半の利用を占めており、農家用料金を上げるしか収入増の手立てはないため、他町村の例とも比較して上げ幅を決めた。

農協の理事会でも説明を行っており、今後は町広報などで全ての世帯に周知していく。

下水道超過料金 「現行水準を維持すべき」

修正案は 否決

賛成4、反対8

前崎茂議員、旗手恵子議員から、下水道超過料金を現行水準維持とする修正案が提出されましたが、賛成少数で否決されました。

二重値上げで負担大
基本水量の引き下げは、一人暮らしなどの少量利用者からは歓迎されるが、料金引き上げと消費税外税転嫁の二重値上げとなり、提案された水準では十勝管内で2番目に高くなる。

高齢者世帯、子育て世帯の収入が伸びていない中、超過料金は現行水準を維持すべきである。

討論

修正案に賛成

旗手恵子議員

原案に賛成

浜頭 勝議員

負担を軽くすべき

料金引き上げと消費税の外税化で二重の値上げとなり、高齢者や子育て世代に負担が大きい。超過料金は現行水準を維持すべきであり、修正案に賛成する。

改正はやむを得ず

一部世帯が値下げになるなどの配慮もされている。下水道事業には多額の繰出金が支出されており、まちの将来を見据えた時、改正内容はやむを得ないと考え、原案に賛成する。

次のページは「第4回定例会・意見書・行政報告」

衆場金 公浴料

大人利用料 5割増の440円に

問 値上げで利用者はさらに減るのではないかと。古い施設で設備もよくないのに、他自治体の公衆浴場に比べて高い料金になることは不条理に思えるが。

答 利用者減にはいろいろな要因がある。平成3年から料金見直しを行っておらず、管理費が多額になっていることから運営は限界で料金改定せざるを得ない。高齢者の100円は維持していく。



高齢者料金は現行100円を維持

討 論

反 対

年間負担額大きい

前崎 茂議員

入浴は日々の生活に欠かせないものであり、1回140円の値上げで年間の負担額はかなり大きくなることから、本案に反対する。

賛 成

改定はやむを得ず

浜頭 勝議員

高齢者・子ども料金は据え置くなど一定の配慮もされている。本町の財政状況からやむを得ないものと考え、本案に賛成する。

園 称 更 変 公 名 更 変

「本通公園」を 「丸山公園」に

看板を新たに設置

昨年の第2回定例会で「本通公園」の名称を「丸山公園」へ復元を求める請願」が採択されたことを受けて、議長から町長に対し、請願趣旨の実現に向けて努めるよう求めていました。

広尾町都市計画審議会、町民意見公募などの手続きを経て、本定例会に公園名称を変更する条例案が提案され、全会一致で可決しました。

(平成30年4月1日から施行)
※本請願採択については、議会だより183号6ページに掲載。

答 都市計画と実際の公園名が違っていても問題ない、マスタープラン改訂時に併せて修正する方がよいと北海道からアドバイスがあった。その方が費用も圧縮が図れる。

問 そのことは委員会開催時にはわからなかった。町の説明が不十分で賛否が分かれたことも考えられる。いつわかったのか。

答 条例改正の作業を行う際に確認したところ、判明した。

問 委員会での審査時に、名称変更200万円かかるとの説明があったが、本当にかかるのか。



新年度に新しく看板を設置

その他決まったこと (◆は行政改革の実行に伴うもの)

- ◎平成29年9月の台風被害復旧に伴う一般会計、簡易水道会計の補正予算、10月の衆議院議員総選挙に伴う一般会計補正予算の専決処分を承認しました。
- ◎老朽化により今後活用予定のない音調津生活改善センターの関係条例を廃止しました。

《以下の変更などはすべて平成30年4月1日施行》

- ◆住民票、印鑑登録証などを取得する際の手数料を変更しました。
- ◆生活支援ハウスなごみの管理費(共用部分にかかる費用)の月額について、単身者1万円を1万2000円に、夫婦世帯1万5000円を1万8000円に引き上げました。
- ◆除雪・草刈などの軽度生活援助にかかる利用料を1時

- 間につき一般世帯80円、所得税非課税世帯24円から、介護保険と同様の1割負担となる200円に変更しました。ただし、所得税非課税世帯は介護サービス負担軽減事業と同様に25%軽減した150円となります。
- ◆十勝管内他町村と比べて高価であった道路占用料を引き下げました。
- ◆十勝管内他町村と比べて安価であった河川敷地占用料などを引き上げました。
- ◆個別排水処理施設使用料にかかる消費税を内税から外税とし、検査手数料を引き上げました。
- ◆10月に改正した「十勝港港湾施設管理条例」の罰則規定を整理、また同条例で定める使用料にかかる消費税を内税から外税へと改正しました。



北海道の酪農と畜産を守れ！！

意見書2件を可決し、国等へ提出

※内容は要約しています。

① 平成30年度畜産物価格決定等に関する意見書

提出者 北藤利通議員

北海道の酪農・畜産は、安全で良質な牛乳・乳製品や畜産物の安定供給という重要な使命を担っているが、飼養農家戸数及び乳用牛頭数の減少という厳しい現実に直面している。

また、T P P 協定や日欧E P A交渉などによって、これまでに経験したことのない高い水準の貿易自由化が迫られており、

多くの農業者は将来への不安を強めている。

国民の基礎的食料の一つである牛乳・乳製品及び畜産物の安定供給、地域経済を支える家族経営・農業法人を中核とする酪農・畜産の持続的な発展を図るため、生産現場に寄り添った政策の推進と必要な予算措置に努めるよう強く要望する。

② 診療報酬を引き下げず、地域医療を守ることを求める意見書

提出者 旗手恵子議員

政府は、平成26年度、28年度に引き続き平成30年度も診療報酬をマイナス改定しようとしているが、これは安定した病院経営を脅かし、医療の質の低下が懸念される。

地方交付税が減少し、へき地や救急医療などの不採算部門を担っている公立病院の経営は一層厳しくなっている。

地域医療を守り国民医療の充実を図るため、次のことを強く要望する。

- ① 診療報酬の連続引き下げは行わないこと
- ② 公立病院の運営に対する地方財政措置の充実・確保
- ③ 地域の医療需要を満たす医療提供体制の構築

提出先 衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣

両意見書、農林水産大臣へ①、総務大臣・厚生労働大臣へ②



村瀬町長からの

農業の生産見込み

畑作部門の生産額は昨年より19・5%増の2億1737万円、畜産部門は昨年より0・8%増の73億3297万円で、農業全体では昨年から1・3%増の75億5034万円、過去最高となった昨年度をさらに上回る見込みである。

行政報告

漁業の生産実績状況

平成29年11月末現在で合計35億9577万円、前年対比1億3513万円、3・9%の増となった。平成29年の最終水揚げ額は約40億3000万円と見込んでいます。



笹原教育長からの

教育行政報告

コミュニティ・スクール制度の導入予定

教育を学校だけに任せず、学校と地域住民が一体となって子どもたちの教育にかかわる仕組みづくりを進めるため、教職員と住民などを委員とする学校運営協議会(コミュニティ・スクール)を、平成31年4月1日から町

内小・中学校に導入予定。

幼稚園3歳児保育の開始

平成31年度に予定している認定こども園への統合に向けて、スムーズな移行を図るために平成30年度実施する。



幼保一元化へ準備進む



漁業生産回復に向けての施策は

次のページは「議員の出欠・議案賛否・議会広報ができるまで」

議員の会議等出欠状況をお知らせします

(平成29年9月定例会終了後～平成29年12月定例会まで)

(1) 定例会・臨時会

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退

開催日	開催会議名・主な内容	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議員名	浜野隆	萬亀山ちず子	北藤利通	前崎茂	志村國昭	山谷照夫	星加廣保	渡辺富久馬	小田英勝	小田雅二	旗手恵子	浜頭勝	堀田成郎
12/5	第4回定例会(条例改正など)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12/6	第4回定例会(条例改正など)		○	○	○	○	○	○	○	早	○	○	○	○	○
12/7	第4回定例会(一般質問)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12/8	第4回定例会(意見書など)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
開催日数計		4日	出席日数計		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

(2) 委員会

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退 -：所属外

開催日	開催会議名・主な内容	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議員名	浜野隆	萬亀山	北藤	前崎	志村	山谷	星加	渡辺	小田	小田	旗手	浜頭	堀田
10/24~25	産業常任委員会行政視察(安平町・札幌市)		○	-	○	○	○	-	×	×	-	-	-	-	-
11/8	議会広報編集会議		-	○	×	-	-	○	-	-	○	-	○	○	-
11/15	総務常任委員会行政視察(本別町・足寄町)		-	○	-	-	-	○	-	-	○	○	○	○	-
11/17	第4回議会広報特別委員会		-	○	○	-	-	○	-	-	○	-	○	○	×
11/17	総務常任委員会行政視察(新得町)		-	○	-	-	-	○	-	-	○	○	○	○	-
12/1	第5回議会運営委員会		○	-	-	○	○	-	○	○	-	○	-	○	○
12/6	予算審査特別委員会(正副委員長互選)		○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	-
12/8	予算審査特別委員会(補正)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
12/8	議会広報編集会議		-	○	○	-	-	○	-	-	○	-	○	○	-

※堀田議員は議長のため、各委員会に所属していませんが、オブザーバーとして出席しています。
 ※副議長の浜頭議員は、議会運営委員会にオブザーバーとして出席しています。
 ※予算審査特別委員会は、議長を除く議員で構成されています。

(3) 議員協議会・研修・その他

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退 -：対象外

開催日	開催会議名・主な内容	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議員名	浜野隆	萬亀山	北藤	前崎	志村	山谷	星加	渡辺	小田	小田	旗手	浜頭	堀田
11/7	十勝管内議員研修会(更別村)		○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○
12/7	議場 de ジャズ(議場でのコンサート)		○	○	○	○	○	○	早	○	○	早	○	○	○
12/8	第7回議員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

⑤原稿を事務局で修正

⑥「議会広報特別委員会」を開催 11/17

編集会議で指摘のあった修正点や全体について最終的な確認を行います。

議会だよりの編集は「議会広報特別委員会」で行っています。委員の任期は2年です。この185号作成時点の委員は、山谷照夫(委員長)、萬亀山ちず子(副委員長)、北藤利通、小田英勝、旗手恵子、浜頭 勝の6人です。

⑦完成 11/20

委員会での指摘等を修正して、完成です。

最後に印刷会社にデータを引き渡して作業は完了です。

皆さんが読みたいと思える紙面づくりに努めています!



⑧皆さんのお宅に配布(町の広報と一緒に)

平成29年 第4回定例会 議案審議結果

●賛否のあった議案（議案名は一部省略しています）

賛成：○ 反対：× 欠：欠席

議案名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	議決結果
	浜野隆	萬亀山ちず子	北藤利通	前崎茂	志村國昭	山谷照夫	星加廣保	渡辺富久馬	小田英勝	小田雅二	旗手恵子	浜頭勝	堀田成郎	
敬老祝金条例の制定	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×	○	—	可決 (8-4)
使用料等算定方法の変更に伴う関係条例の整理条例の制定	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×	○	—	可決 (8-4)
老人福祉センター設置条例の一部改正	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×	○	—	可決 (8-4)
下水道条例の一部改正	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×	○	—	可決 (8-4)
下水道条例の一部改正（修正案）	×	×	×	○	×	×	○	×	×	○	○	×	—	否決 (4-8)

※全会一致した議案の掲載は省略しています。

※堀田議員は議長のため、採決には加わりません。

「議会だより」が できるまで

3・6・9・12月の年4回発行し、議会の審議内容や議会・議員活動を町民の皆さんにお知らせする重要な役割を持つ「議会だより」。
その「議会だより」はどうやって作っているのか、12月に発行された184号を例にご紹介します。

- ①「広報編集会議」(1回目)を開催 9/15
 9月定例会の閉会后、すぐに編集会議を開きます。ここでは、今後の編集スケジュールや紙面構成、トップ記事は何にするかを話し合います。

何をどう
わかりやすく
伝えるか



- ③原稿を事務局で作成
 編集会議での方針を基に事務局で原稿を作成します。できた原稿は編集会議(2回目)の約1週間前に委員へ送付します。

- ④「広報編集会議」(2回目)を開催 11/8
 原稿の内容をチェックします。(レイアウト、見出し、文章など)
 また、一般質問の「見出し」をよりよいものにするため、各委員が案を持ち寄り、話し合って修正します。

- ②一般質問の会議録(速報版)を
 議員に送付 9/26
 一般質問をした議員は、自分の質問内容についての原稿を作成します。提出締め切りは概ね10日後としています。原稿は200文字前後で、見出しも考えます。
 ※答弁内容は事務局で作成します。



右ページへ



入所児童数増により、わずか2年で増築へ

ひろお保育園増築設計委託料 194万円

問 9月12日の議員協議会で説明のあった「ひろお保育園」保育室増築にかかる設計委託料が計上され、議員から説明を求める声が上がりました。

答 9月12日の議員協議会で説明のあった「ひろお保育園」保育室増築にかかる設計委託料が計上され、議員から説明を求める声が上がりました。

平成29年度 補正予算の内訳

一般会計 ⑤、⑥、⑦	75億8384万円	3928万円	減
港湾管理特別会計 ③	1億2170万円	※増減なし 財源内訳の補正	
簡易水道事業特別会計 ③、④	6797万円	534万円	増
下水道事業特別会計 ④	5億573万円	153万円	増
国保事業勘定特別会計 ③	12億7384万円	129万円	増
介護保険特別会計 ③	7億3652万円	290万円	増
介護サービス事業特別会計 ③	2億5277万円	424万円	減
国保病院事業会計 ②			
収益的収入・支出	8億6781万円	7万円	減
資本的収入・支出	1億2697万円	228万円	減
水道事業会計 ③			
収益的支出	1億6389万円	89万円	増
資本的支出	9603万円	190万円	増

※会計名の後の丸印は補正回数

(1万円未満切り捨て)

予算審査特別委員会

委員長 前崎 茂
副委員長 旗手 恵子

12/6,8

一般会計ほか8会計の平成29年度補正予算案9件を、12月6日に設置された予算審査特別委員会に付託。同委員会で審査を行い、全補正予算を原案のとおり可決すべきと決定しました。

ひろお保育園

増築する理由は

町見通しの甘さを陳謝

9月12日の議員協議会で説明のあった「ひろお保育園」保育室増築にかかる設計委託料が計上され、議員から説明を求める声が上がりました。

問 保育園新築から間もないのに、なぜ増築なのかという声が町民からも出ている。平成25年の議員協議会で「統合保育所の定員は115人とする。幼保一元化になっても最大150人まで受け入れる施設の設計としているため、十分ゆとりがある」との説明があった。子どもの数が増えているから増築するというが、当時の説明と矛盾するのではないか。

答 統合時には、平成25年の人口推計を基に入所する子どもの数を推計した。設計時点では最大150人だったが、実際には150人は入らない状況である。

問 議員協議会での説明から大きな変更があれば、議会に説明・報告がないと認識の相違が生じる。どの段階でどういう理由で変更が生じたのか。平成25年の議員協議会でも「心配ないか」と質疑があったが、「最大150人なので大丈夫」と説明された。

答 当時の説明から大幅な変更になっていないわけではない。4・5歳児それぞれの保育室基準面積による保育可能人数を超える入所申込みが見込まれるため、

問 なぜ子どもの数の変化を予測できなかったのか。変化の理由は想定外なものではない。推計、想定が甘かったのでは。現状は推計より39人多く、推計が甘かった。

答 現在は推計より39人多く、推計が甘かった。

増築して安全な保育環境を整えたい。

当時は縦割り保育の活用で年齢間の人数のばらつきを調整する予定だったが、現状は年齢別のクラス分けとしており、それが一番望ましいと考えられていることから増築するとの結論に至った。

問 今回のことは明らかにミスであり、検証を行うべき。また、今後どう活かしていくのか。

答 わずか2年で増築という状況になったことはお詫びしたい。今後同様のことが起きないように事務を進めていく。

たと感じる。増築で大きな財政負担が生じることにしてお詫びしたい。子育て施策の実施で入所率も増えており、希望する全ての子どもを受け入れるための増築であることをご理解いただきたい。

今回のことは明らかにミスであり、検証を行うべき。また、今後どう活かしていくのか。

問 今回のことは明らかにミスであり、検証を行うべき。また、今後どう活かしていくのか。

答 わずか2年で増築という状況になったことはお詫びしたい。今後同様のことが起きないように事務を進めていく。

ズバリ 町政を問う 一般質問

一般質問とは・・・

議員が定例議会で町長などに執行機関の考え方について報告を求めたり、疑問をたずねることで。

広尾町議会では1回目が一括質問方式、2回目以降は一問一答方式となっています。

※議会日よりでは、内容を要約して掲載しています。

12月定例会では
4人の議員が一般質問を行いました。



広尾サンタランドマスコットキャラクター「さーたちゃん」

●一般質問 項目一覧

前崎 茂議員	臨時職員の正職員化と賃金引き上げを	P 9
	どう解決する？広尾町の人口減少問題	P 10
萬亀山ちず子議員	「不育症」助成制度創設を	

旗手恵子議員	就学援助の入学準備金 入学前の支給を	P 11
	みんなが安心できる介護保険計画策定を	
小田雅二議員	漁業関連のシンポジウム開催を	P 12

質問 平成29年3月末の職員数202人に対し、臨時職員数は204人とほぼ同数となっており、年々増加している。高齢者福祉施設等で長く働いている臨時職員の正職員化を年次的に行うべきでは。

また、時給単価は平成16年度に800円、27年度に820円へと引き上げだが、北海道の最低賃金は810円でその差はわずか10円である。速やかに引き上げるとともに、扶養手当や住居手当も支給すべきと思うが。



まえざき 前崎 茂 議員

答弁 村瀬町長 これまで正職員の採用は厳しい財政状況の中、退職に伴う必要最小限に抑制してきた。今回の第5次行政改革においても、簡素で効率的な組織機構を基本に退職状況や全体の職員数を考慮し、特に福祉部門は将来的な施設の管理方法も含めて検討する計画である。現在の状況では、年次的としても全ての臨時職員を正職員化すると今後の財政の見通しが立てられない。賃金の引き上げ、手当の支給については、これまでも改善を図ってきたが、今後も法律改正や十勝管内の情勢を勘案しながら検討する。

臨時職員の正職員化と賃金引き上げを

町長 待遇改善は検討する

わずか10円 ～臨時職員賃金単価と北海道最低賃金の差～ (円)

区 分	H16	H20	H24	H26	H27	H28	H29
町臨時職員	800	800	800	800	820	820	820
北海道最低賃金	638	667	719	748	764	786	810
差 額	162	133	81	52	56	34	10

※町臨時職員は「給食センター調理員（無資格）」の賃金単価



次のページも「一般質問」
『人口問題・不育症・就学援助・介護保険』

どう解決する？ 広尾町の人口減少問題

～広尾町総合戦略、人口ビジョンの見直しは

町長 見直しを図り、着実に施策を実行

減り続ける人口に歯止めはかけられるのか

～社会減を減らす有効な施策実施を

区分	年度	H20	H22	H24	H26	H28
自然増減		-38	-59	-69	-47	-54
社会増減		-51	-45	-122	-133	-117
人口全体の増減		-89	-104	-189	-167	-173

※自然・社会増減の合計と人口全体の増減が一致しない場合があります

質問

「広尾町総合戦略」「人口ビジョン」は5か年計画（平成27～31年度）であり、今年度は3年目に当たる。数値目標では、5年間で新規就業者を100人、移住定住者を80人増やすとあるが、今年度までの実績と今後の見直しは。

また、平成31年度に合計特殊出生率を1.67にするとあるが、平成20年

度からの5年間平均1.44と比較しての見直しは、人口の社会減を平成31年度までに平均マイナス77人を35人にするとあるが、見直しは。数値目標をもとに具体的な検証を行い、見直しを図るべきでは。

答弁 村瀬町長

起業家等支援により8件の新たな起業があったが、具体的な新規就業者数は把握できていない。また、移住体験住宅の利用は増えているが、現在までに移住した実績はない。

また、出生率や人口の社会減においても、数値目標達成にはほど遠い実績となっている。

平成28年度終了時点の検証では、目標達成に向けて各種施策はおおむね有効であるとの結果だったため見直しは行わなかったが、現在の状況から今年度が終了した時点で、しっかりと見直しを行い着実に施策を講じたい。



まえざきやま 萬亀山ちず子 議員

質問

妊娠はするが、流産・死産を繰り返すことで結果的に赤ちゃんが授けられない「不育症」は、保険適用外の治療であったり、道内の実施医療機関が旭川医大や札幌医大に限られ、交通費・入院費等もかかるため、費用が高額で負担が大きい。加えて、心理的なサポート体制が進んでいない現状にある。治療すれば出産できる方が85%にのぼることが明らかとなっており、本町においても相談窓口を設置し、高額治療費の助成制度を創設すべきと思うが。

答弁 村瀬町長

現在、不育症に関する相談は寄せられていないが、子育て支援策として取り組むべき重要な課題と認識している。相談対応ができる体制づくりを進めていきたい。

本町では特定不妊治療等への助成を道の助成制度と合わせて行っており、不育症も同様の運用を考えている。道では平成29年度より不育症への助成制度をスタートさせているため、現在本町における支援策を検討している。

「不育症」

助成制度創設を

町長

北海道に合わせた制度を検討する

「子どもを安心して産み育てられるまちづくり」をしっかりと進めていく。

検討の結果、平成29年度から助成を開始

対象となる条件	①道の不育症治療費助成が決定していること ②夫婦のいずれかが申請年の1月1日に広尾町に住所があり、現在も住んでいること ③他の市町村で同様の助成を受けていないこと
助成内容	不育症の要因を特定するための検査、治療、交通費などの費用から、道の助成額を差し引いた額 ※ 1回10万円以内

就学援助の入学準備金 入学前の支給を



はたて 旗手恵子 議員

教育長 来年度の対象者から開始する

質問

就学援助の入学準備金

は、国会でも取り上げられ、平成29年度から増額された。

私は平成28年9月

定例会で「増額された入学準備金は、入学前の必要とする時期に速やかに支給すべき」と一般質問し、

教育長は「検討する」と答弁された。

その後、幼稚園・

保育園・学校との協議や就学援助の周知、申請方法など早期支給の手立ては取られたか。

幕別町と芽室町では、12月定例会に入学前支給に必要な補正予算が提案された。本町も今年度こそ入学前に支給すべきと思うが。

答弁 笹原教育長

十勝管内では、年度内の早期支給に向けて5市6町村が準備を進めており、その判定方法等を参考に、本町においても入学前の早期支給に向け、



十勝管内では12市町村が入学前支給を実施

現在準備を進めている。

来年度入学・進学予定の児童・生徒を持つ保護者に対しては、早期に制度改正の通知、申請書を送付し、町広報などでも広く周知徹底に努める。

ほとんどの町村では、就学援助の基準を生活保護基準の1.3倍としているが、広尾町は独自基準で1.5倍としている。わかりやすい資料を提供し、対象となる世帯が1件も漏れることのないよう進めていきたい。

はたて 旗手恵子 議員

質問

要支援1・2が市町村の総合事業に移行し、その後介護報酬の削減が行われ、介護事業者の経営困難が生じている。

さらに国は、来年度介護報酬・診療報酬を削減しようとしており、そのうえ介護保険の生活援助の利用制限、要介護1・2を保険給付から外すなど、さらなる改悪をしようとしている。

介護を利用する人も、介護事業者も安心できる次期介護保険事業計画にすべきではないか。

そのためには国に意見を上げ、事業者には財政支援を行うべきではないか。

みんなが安心してできる

介護保険計画策定を

町長 利用者のニーズに合わせた計画としたい

答弁 村瀬町長

現在、次期介護保険事業計画を策定中であるが、利用者のニーズを的確に把握し、必要なサービスが提供できる計画とすることが、関係者や介護事業者と信頼関係を築いていきたい。

平成30年度から介護報酬が改定される予定だが、現時点では見直し案であり、今後詳細の把握に努める。

本町では、総合事業を介護保険相当のサービスとしている。介護報酬が削減されても現行を維持するためにには事業者への財政支援も必要になってくるが、厳しい財

政状況でさまざまな住民負担を求めている現状からも難しい。

介護保険制度は国の責任で運用すべきであり、今後も引き続き国に要望していく。



新たなサービス参入で選択の幅が広がる

次のページも「一般質問『水産業』」
「議場 de ジャズ・常任委員会」



おだ 小田雅二 議員

漁業関連の

シンポジウム開催を

町長

漁業振興全体として
対策を考えたい

質問

今年の十勝管内
3漁協の秋サケ
水揚げ量は、不漁だった
前年の3割程度で過去最
低を更新した。稚魚が海
へ出る頃の海水温の低さ
が原因ではないかとされ
ている。

北海道全体の水揚げ量
を10年前と比べると、シ
ロザケが1/2、ホッケ
が1/7、イカやサンマ
が2/5と極端に減少し
ている一方で、暖流系の
ブリやイワシ、メカジキ
等が出てきている。

漁業は本町の基幹産業
である。町の存続をかけ
て緊急にやるべき一つの
対策として学者、専門家
漁業関係者等が環境の変
化など幅広く意見や経験
談を共有するシンポジウ
ムを開催すべきでは。

答弁

村瀬町長

今年の広尾漁協の
秋サケ漁は、前年比
44・1%減の水揚げ
量であった。十勝・
釧路管内では、海だ
けでなく河川での採
卵用のサケ捕獲でも
過去に例を見ない厳
しい状況にある。

この問題を含め、
地球環境の変化につ
いては、国、道、関
係機関をあげて調査
研究に乗り出してい
るところであり、本
町としては歩調を合
わせることが大切と
考えている。関係機
関と連携しながら、
漁業振興全体として
対策を考えていきたく
い。

広尾町の主な魚種別水揚げ量の推移 単位：トン

魚種	H20	H22	H24	H26	H28
いか	2,192.7	1,463.5	2,431.2	2,417.0	736.1
さけ・ます	3,013.2	2,467.0	1,518.1	2,149.9	700.0
ししゃも	314.6	324.2	265.0	115.7	128.5
すけとうたら	3,463.2	2,662.5	3,009.4	4,096.8	3,832.3

広尾漁協業務報告書より

議場 de ジャズ



♪ 広尾サンタランド・ジャズスクールが5曲を演奏 ♪



たくさんのご来場ありがとうございました
今後も議会が身近になるような取り組みを進めていきます

12/7

総務常任委員会が行く☁

教えて！みんなの町のいいところ

in 本別町

住民主体の福祉でまちづくり

調査日 平成29年11月15日

出席委員 旗手・こだ・

萬亀山・山谷・おだ・浜頭（全委員）

本別町福祉施策の歩み

平成5年、在宅福祉ネットワーク事業を開始し、「地域での支えあい・助け合い活動」を展開。現在では人口の約8割を網羅する福祉施策の根幹となっている。

平成12年には、国保病院、民間老人保健施設、総合ケアセンターなどを集約した健康・福祉・医療ゾーン「太陽の丘」をオープン。現在は総合ケアセンターが核となり、役場の各部署とも連携しながら相談からサービス提供まで一体的に対応している。

平成13年に町民主導で健康長寿のまち

づくりに取り組み、現在に至っている。

介護人材確保への取り組み

①町内民間介護事業所へ新たに就職する方に介護従事者就業支援等補助金（就職支度金など）の交付

②介護職従事者のキャリアアップにかかる資格取得費用の一部に対し介護職員等資格取得・研修支援事業助成金の交付

③道内介護福祉養成校に通う学生を対象に町の魅力や介護事業所を知ってもらう2泊3日のほんべつ福祉セミナーの開催

④介護職員初任者研修の開催

⑤将来介護福祉士として町内の介護事業所などに勤務を志望する方に介護福祉士修学資金の貸し付け
などを実施し、介護現場における人材確保・育成・定着を推進している。

空き家対策と住み替え支援

厚労省のモデル事業で空家等実態調査を行い、活用できる空き家への住み替えを支援するなど、空き家対策と住み替え支援を一体的に行っている。

高齢者等の入居者・貸主の不安を解消し、住み替え支援と空き家の活用促進を図る取り組みとして、見守りから家財整理などを行う「あんしんすまい保証サービス」、遺体の引き取りや葬儀など

を行う「死後事務委任契約事業」を実施し、空き家の利活用による福祉でまちづくりを推進している。



視察を終えて 委員のひとこと

旗手委員長

福祉の意識づくりや施策の成果が出るには時間がかかるが、住み慣れた地域でいつまでも住み続けられるよう取り組み、「ひとりの不幸も見逃さない」として住民とともに進めてきた施策から、福祉でまちづくりを推進する強い信念を感じた。

おだ委員

福祉施策が充実している町に人は集まる。人口減少が進む本町において、本別町で取り組む住民主体の福祉施策は、先進的で新鮮に感じ、とても参考となった。

今後、一般質問などで本町において同様の事業を取り入れていく可能性について質していきたい。



次のページも「常任委員会」

町のいいところ

子どもを育てる環境づくり

認定こども園へ移管する際、認定区分にかかわらず、同じ保育サービスを受けられることが大きなメリットである。

認定こども園で行う「子育て支援事業」

つどいの広場 (親子交流広場)	入園前の乳幼児と保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報提供、助言などの援助を行う事業。保育士の遊びや紙芝居、「子育て講座」を実施している。
一時保育事業	家庭において一時的に保育を受けることが困難となった乳幼児を認定こども園などで一時的（主に昼間）に預かる事業。
病児・病後児 保育事業 (体調不良時対応型保育事業)	児童が保育中に微熱を出すなど体調不良となった場合、緊急的な対応などを図る事業。看護師を一名配置している。

認定こども園へ移管する際、認定区分にかかわらず、同じ保育サービスを受けられることが大きなメリットである。

認定こども園へ移管する際、認定区分にかかわらず、同じ保育サービスを受けられることが大きなメリットである。

子ども子育て支援法の施行に合わせ、平成19年から統合保育事業を行っていた足寄保育園どんぐりを「保育所型認定こども園」に移管し、平成27年4月1日に開設した。

**認定こども園
どんぐりの運営**

調査日 平成29年11月15日
出席委員 旗手・こだ・萬亀山・山谷・おだ・浜頭（全委員）

制とした。移管前に幼稚園に通っていた1号認定児が4時間以上保育サービスを受けても預かり保育料を算定せず、移管前に保育所に通っていた2号認定児の保育料と同額の設定（国の基準以下）とした。

また、子どもセンターの所管施設として建設された、子育て支援事業も行っている。主な事業は左の表のとおり。

保育料無償化

平成26年4月、町独自に多子世帯の保育料軽減策を実施。同時入所にかかわらず、同一世帯において18歳未満の児童を二人以上養育している場合、第2子半額、第3子以降を無料とした。



視察を終えて 委員のひとこと

萬亀山委員

教育と保育を一体的に行う認定こども園では、少子化の影響から兄弟姉妹がおらず、普段は他年齢の子と接することのない子が年下への思いやりや年上を敬うことなどを身に付ける場所としても期待できる。

山谷委員

認定こども園移行後の効果や職員の資格要件等の運営上の注意点など、大変参考となった。平成31年度から本町も認定こども園へ移行するため、今回の視察で得た調査結果をもとに、今後の町の動向を注視しつつ、先進事例を参考に柔軟な提言を考えたい。

福祉は町の基幹産業になる

教えて！みんなの

調査日 平成29年11月17日
出席委員 旗手・こだ・
 萬亀山・山谷・おだ・浜
 頭（全委員）

社会福祉法人厚生協会

戦後の混乱が続く昭和28年に聴覚障がい者の職業能力の向上と自立支援のため創設された身体障害の分野では北海道で2番目となる社会福祉法人である。現在は社会福祉施設9施設、その他の事業所12事業所を運営している。主に聴覚障がい者を対象としているわかふじ寮、第2わかふじ寮、屈足わかふじ園、わかふじワークセンターなどの施設には全国から利用者が集まっている。

平成29年4月1日現在施設等利用者723人、職員246人で職員家族を含めると1294人が法人関係者であり、新得町の人口の2割を超え、福祉が町の基幹産業の一つと言える。就労支援として手作りの木工家具やおもちや、

厚生協会の社会福祉施設

施設区分	施設名	定員	
障害者支援施設	わかふじ寮	就労移行支援	6名
		就労継続支援B型	34名
		施設入所支援	24名
	第2わかふじ寮	生活介護	40名
		施設入所支援	40名
	屈足わかふじ園	生活介護	55名
施設入所支援		52名	
指定障害福祉サービス事業所	わかふじワークセンター	就労継続支援B型	40名
聴覚障害者養護老人ホーム	やすらぎ荘		50名
特別養護老人ホーム	新得やすらぎ荘		50名
地域密着型特別養護老人ホーム	新得やすらぎ荘		20名
社会福祉法による授産施設	厚生協会新得白生舎		20名
養護老人ホーム	ひまわり荘		50名

ペットのおやつやの製造などを行っているわかふじ寮等の利用者は、工賃と障害基礎年金で地域生活が可能となつてはいるが、就労の場の確保、職員の確保が課題となっている。人材確保には苦慮しており、施設職員を減らす

ことにより虐待につながるから、福祉事業は利益が出ない。一つの施設が赤字でも他の施設で黒字になれば良いと考えて運営している。

創設当時から続く 木工を中心とした授産事業



視察を終えて 委員のひとこと

こだ副委員長

大きな法人であっても職員確保が一番大変だということ、本町の取り組みについても大変参考となるが多かった。福祉に携わる人の実態に接し、本町での取り組みをより充実させないといけないと改めて実感した。

浜頭委員

本町にある養護・介護・福祉といったすべてを一つの法人として網羅しており、しっかりとした理念をもとに頑張っていることが伝わってきた。作業風景も見学させてもらい、大変参考となった。今後は、本町ならではの難しい問題が多々あるが、地道に活動していきたい。

町のいいところ

環境に配慮した大規模農場

【環境基準の順守】
豚の糞尿は、牛と違い牧草地などへの散布が認められていないため、大量に発生する排泄物をす

べて基準値以下に処理しなければならない。
畜舎は糞尿分離方式で、尿は活性汚泥処理し、基準値の3分の1まで数値を下げ、河川放流している。
固形排泄物は、水で希釈せず、微生物により完熟堆肥化する施設の中で、約1か月かけて発酵有機肥料「ゆめの大地（商品名）」を製造、関連会社で販売するほか、自社関連野菜農場の肥料として使用、環境保全型農業を実現、実証している。
系列の繁殖農場、肥育管理農場でも同じ基準の環境対策を行っており、今後建設する農場もすべて同様の対策を講じた施設を予定している。

【生活環境への配慮】
尿の終末放流水は、無色透明の状態を河川放流しており、定期的な公的機関の立ち入り検査でも流域での不純物沈殿、付着物などは全くなく、淡水魚が生息する良好な状態に保たれているとの結

果であった。
また、固形排泄物の完熟堆肥は、発酵有機肥料となった最終段階での臭気はほとんどない。
近隣には民家も点在しているが、畜舎と同様に糞尿の処理はすべて屋内で行われており、臭気、騒音が極力外部に漏れないうように配慮され、これまでに苦情は1件もない。

【今後の農場計画】
現在、広尾町も含め全道各地で遊休地等を調査し、環境や設置基準を満たす農場建設の計画を進めている。会社の方針で、基準をクリアしても地域の了解が得られなければ進出しないとしている。

北藤委員長
本町の畜産業においても適切に糞尿処理をしなければならぬ。
今後、排泄物を活用したバイオガスプラントによる再生可能エネルギーの利活用を農協など関係団体と協力しながら、地域の活性化につながる町おこしとして追求していきたい。

浜野委員
近年、経営統合など基盤強化の動きが出てきている。それに伴う農場の規模拡大は、糞尿・臭気・土壌汚染による水質悪化が懸念され、今後生活環境に配慮した規制が予想される。
先進的な糞尿の処理方法など大変参考となり、今後、農業者や農協などと意見交換をしながら、本町の農業について考えていきたい。

視察を終えて 委員のひとこと

過去の視察先（例）

① 剣淵町（平成21年）

【先進地における図書館の運営状況について】
全国で唯一と評される個性的な図書館づくりを目指した「絵本の館」を視察。絵本によるユニークなまちづくりを調査した。

② 黒松内町（平成26年）

【先進地における地場産品を活用した加工施設の実態について】
特産物手づくりセンター「トフ・ヴェール」を視察。農産物を加工することで付加価値を高めることなどを目的とした事業を調査した。



獲る漁業から育てる漁業へ

教えて！みんなの

調査日 平成29年10月24日

出席委員 北藤・志村・

浜野・前崎

欠席委員 星加・渡辺

公益社団法人

北海道栽培漁業振興公社

北海道沿岸漁業の振興発展を図るため、栽培漁業を積極的に推進し、水産資源の維持培養や生息環境の保全に取り組み、水産物の安定供給と漁村の発展を目指し、昭和54年に設立された。

【沿岸市町村における栽培漁業の取り組み】

北海道を5つの海域に分け、漁業協同組合、市町村、道が一体となって、海域の特性に応じた事業が展開されている。公社の5事業所と道立水産試験場が、各海域で水揚げされる資源の維持増大を目的に種苗生産を行い、各地区に供給している。

各海域では、魚類に比べ資源調査などの管理が容易であることや水揚げ

が比較的安定していることから、エゾアワビ、ウニ、シジミ、エゾボラなどの根付資源を主体に行っている。

【十勝沿岸の栽培漁業】

現在、各海域では、ヒラメ、ハタハタ、マツカワなどの稚魚放流事業を行っているが、これらの魚類は、移動や回遊性があり資源管理が難しいことや他の漁業での混獲も多く安定した結果が得られないなどの難点がある。十勝沿岸は、エゾボラ類の生息域であることから、根付資源の増大事業が有効かと思われる。

【マツカワ種苗の供給見込み】

平成29年度のマツカワ種苗生産では、計画どおり当初450万尾のふ化仔魚を得たが、4月中旬頃から餌を採らない個体が増え大量死した。その後、44万8000尾の追加生産を行ったものの、同一の病状が発生し、結果的に生存仔魚は7万尾

となった。明確な原因究明には至っていないが、施設の経年劣化に起因する飼育水への影響や初期餌料、親魚のコンディションによる卵への影響などが考えられ、水質調査、給水配管の再点検やろ過材の入れ替えを行うとともに、天然漁獲の親魚主体で採苗を行うなど、来年度以降の種苗生産と供給に努める。

視察を終えて 委員のひと言

志村副委員長

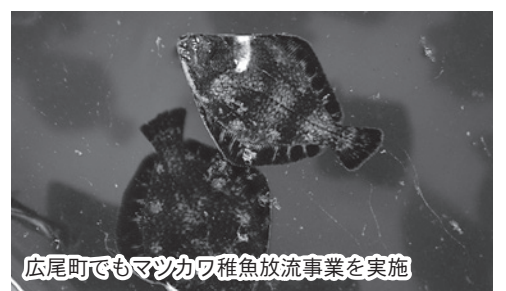
他市町村での「育てる漁業」の取り組みやマツカワ稚魚が今年大量死した原因などを調査する目的で視察した。

漁業は本町の基幹産業であるが、漁業資源は減少している現状から、今後は今回の調査結果を踏まえ、生産者や関係団体と懇談などを通して、実効性のある産業振興策を提案していきたい。

前崎委員

沿岸漁業振興対策の進捗状況を調査したが、シヤマの種苗生産が釧路日高に比べ、十勝は遅れていると感じた。

行政は前向きに検討すべきではないかと思い、今後総合的な検証を行い、議会審議などで発信していきたい。



広尾町でもマツカワ稚魚放流事業を実施

議会のこと 教えて！さーたちゃん



議会の
しくみ
勉強中

Q 委員会の
行政視察ってなに？

A 各委員会で所管する事務事業について、今後の議会活動の参考とするため、先進自治体等の事業について調査・研究する目的で行うものです。

広尾町では、各常任委員会で年1回、委員で話し合い、調査したい項目を決めて行っています。議会運営委員会でも必要に応じ、実施しています。

経営難が深刻化 経営形態見直しを検討

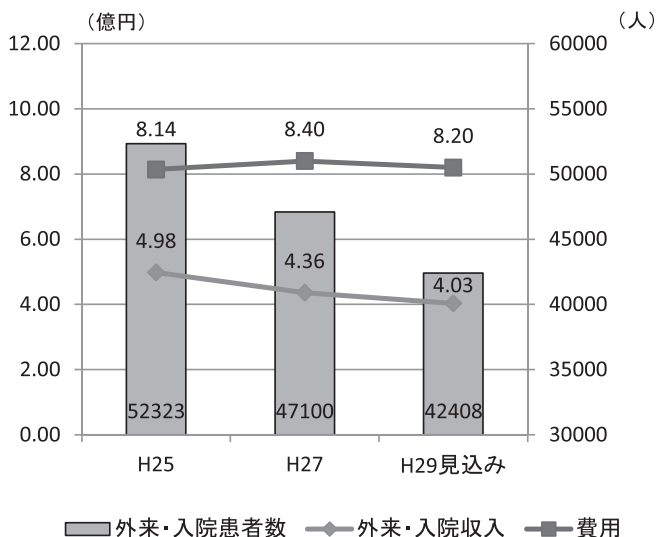
議会は調査特別委員会を設置

平成30年第1回臨時会が1月23日に開かれ、条例改正、補正予算の議案11件を審議。いずれも全会一致で原案のとおり可決し、閉会しました。

病院をどう残していくか

同日開かれた議員協議会で町から国保病院の現

患者数、事業収入は減少の一途



平成29年度 補正予算の内訳

一般会計 ⑧	75億8676万円	292万円	↑
港湾管理特別会計 ④	1億2170万円	※増減なし 財源内訳の補正	
簡易水道事業特別会計 ⑤	6842万円	44万円	↑
下水道事業特別会計 ⑤	5億582万円	8万円	↑
国保事業勘定特別会計 ④	12億7402万円	17万円	↑
介護保険特別会計 ④	7億3713万円	61万円	↑
介護サービス事業特別会計 ④	2億5359万円	81万円	↑
国保病院事業会計 ③	収益的収入・支出 8億7129万円	348万円	↑
水道事業会計 ④	収益的収入 1億4718万円	7万円	↑
	収益的支出 1億6460万円	71万円	↑

※会計名の後の丸印は補正回数

(1万円未満切り捨て)

※人事院勧告

国家公務員は労使交渉で賃金や待遇を決める協約締結権が認められていないため、第三者機関である人事院が民間給与と比べて給与水準がどうなっているか調査して、同水準となるよう勧告を行います。広尾町は国の取り扱いを参考に給与改定方針を決定しています。



状と今後について、「患者数の減少で収入も減少しており赤字も増えているが、町から病院事業への繰出金はこれ以上増やせない。病院の安定的経営が継続できないことから、国が公表したガイドラインに示された『経営形態の見直し』について検討委員会を立ち上げ、専門知識を持った外部委員を委嘱して検討を進めていく。」と説明がありました。

職員与 職給

人勤に伴う増額改定

議員期末手当は据え置き

※ 人事院勧告に伴い、職員の給料月額を平均0.15%引き上げ、特別職・職員の期末勤勉手当を0.1か月分引き上げて、年間4.4か月としました。議員の期末手当支給率

それを受けて、議会としても病院をどう守っていくのか、町民に対して説明する責任があることから、「国保病院のあり方に関する調査特別委員

会」(浜頭勝委員長)を設置し、この問題について調査を行い、議論を進めていきます。

特別職の給料月額を改定

	改正前	改正後	削減額
町長	74万円	66万7000円	7万3000円
副町長	61万3000円	58万3000円	3万円
教育長	55万8000円	54万1000円	1万7000円

給率も同期間については今改正前の支給率(年間4.3か月)とします。

議員活動の自己評価

5つの項目を
4段階で評価しました

- ① 議会の会議（本会議、委員会、議員協議会など）や研修の出席
- ② 議会の会議（本会議、委員会、議員協議会など）での発言
- ③ 議会、委員会で実施した研修や視察
- ④ 議会報告会、議会懇談会、議会モニター会議など、議会改革の取り組み
- ⑤ 個々の議員活動全般

広尾町議会基本条例では、「議会は町民に対し、議員の活動を的確に評価ができる情報を提供する。」と定めています。

議員個人が1年間どう考え、どう活動したかについて自己評価を行い、その結果を広く町民に知らせることは、町民が議会、議員に対し、的確な評価を下す大きな材料となり、議会の透明化を目指す上での一つの手段になると考えます。

そのことから、「議員個人の活動にかかる自己評価」を平成29年の活動分から実施しましたので、結果をお知らせします。

※年齢、所属委員会は2月末日現在

《各項目の評価基準は以下のとおりです》

はまの たかし
浜野 隆

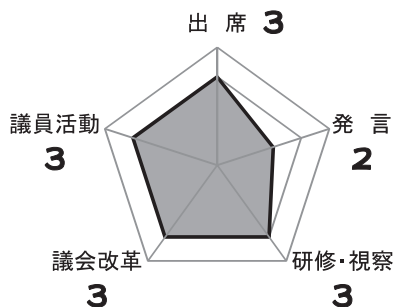
64歳 当選1回



- ・産業常任委員
- ・議会運営委員

わたしの
得意分野は

農業



発言	一般質問の実績なし。他の議員に先に発言されてしまい、質疑も少なかった。
研修・視察	行政視察は目的を持って視察できた。(大規模農場の衛生管理)
議会改革	報告会、懇談会では、町民と積極的に意見を交換した。
ひとこと!	議会や委員会でもっと発言するよう努めたい。

出席

- ・会議や研修の出席状況はどうだったか。
- ・正当な理由がない欠席はなかったか。

発言

- ・一般質問、審議・審査の質疑、討論などで自分の考え、意見を発言したか。
- ・発言の論点ははっきりしていたか。また、簡潔明瞭な発言だったか。

研修・視察

- ・明確な目的をもって参加したか。
- ・研修等で得たことを、その後の活動に活かしたか。

議会改革

- ・事業実施にあたって、真摯に全力で取り組んだか。
- ・事業を実施して得たことを、その後の活動で活かしたか。

議員活動

- ・町民に選ばれた者としてふさわしい活動、行動ができたか。
- ・町民の意見を広く把握し、町政の課題へ的確に反映させたか。
- ・報告事項や提出書類を期限内に報告・提出できたか。

評価は4段階

- 1ーできなかった
- 2ーあまりできなかった
- 3ー概ねできた
- 4ーよくできた



次のページも「議員の自己評価」

きたふじ としみち
北藤 利通

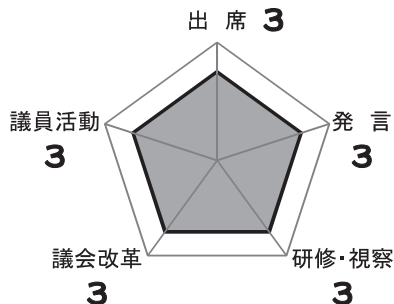
65歳 当選2回



- ・産業常任委員長
- ・議会広報特別委員
- ・南十勝複合事務組合議会議員

わたしの
得意分野は

農業



出席	正当な理由がない欠席はない。
研修・視察	研修・視察で得たことを地域に活かした。
議員活動	町民に選ばれた者としてふさわしい活動を行った。
ひとこと!	町民に選ばれた者としてふさわしい活動を行う。

まきやま こ
萬亀山ちず子

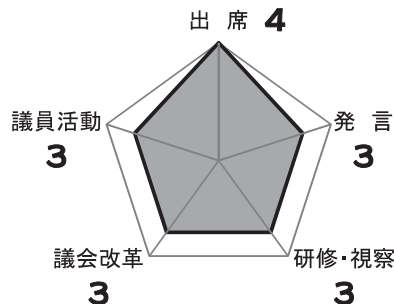
68歳 当選1回



- ・総務常任委員
- ・議会広報特別副委員長

わたしの
得意分野は

福祉



出席	欠席はない。
研修・視察	レポート作成に知恵をしぼり、提出した。
議会改革	できないことが多かったが、真剣に取り組んだ。
ひとこと!	諸先輩に意見をもらい、勉強して頑張ります。

しむら くにあき
志村 國昭

67歳 当選2回



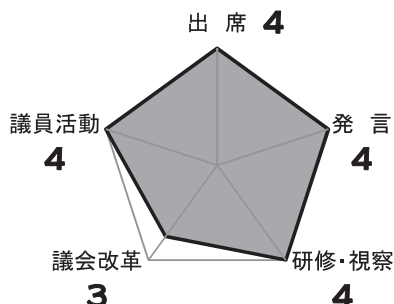
- ・産業常任副委員長
- ・議会運営副委員長
- ・議会選出監査委員

わたしの
得意分野は

水産

商工業

一般行政



発言	毎回事前に質問等の内容を精査して要点をまとめ、簡潔な発言に努めた。
議会改革	努めて取り組んだが、一人の議員として限界を感じたのも事実。
議員活動	活動の中で重要と判断した案件は、一般質問等で考えを質した。
ひとこと!	町民の代弁者としての認識を保ち、皆さんの声を町政に届けるため、さらに活発な活動に精進したい。

まえざき しげる
前崎 茂

68歳 当選3回



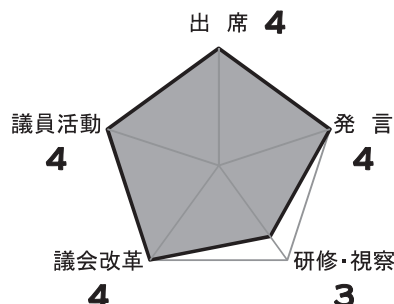
- ・産業常任委員
- ・議会運営委員
- ・南十勝複合事務組合議会議員

わたしの
得意分野は

教育

行政

保険医療



出席	本会議、委員会等は全て、研修会は概ね出席できた。
発言	全ての定例会で一般質問を行い、傍聴者が理解できるよう腐心した。
議員活動	一般質問等を通じ、町民の意見・要望を幅広く反映できた。
ひとこと!	会期が短く、議案への対応に大変苦勞したが、今後も議員の責務を果たしていきたい。

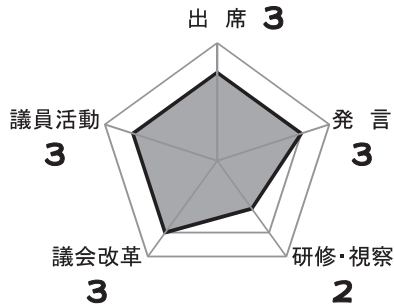
ほしか ひろやす
星加 廣保 80歳 当選4回



- ・産業常任委員
- ・議会運営委員

わたしの
得意分野は

行政



出席	欠席はあったが、概ね出席できた。
議会改革	議会基本条例を制定した以上、取り組まなければならない。
議会活動	これからも日々議員活動に努力する。
ひとこと!	議会が決定したことは協力したい。

やまや てるお
山谷 照夫 72歳 当選3回

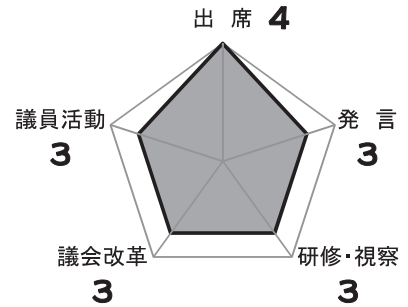


- ・総務常任委員
- ・議会広報特別委員長

わたしの
得意分野は

福祉

行政



発言	自分の考え等を簡潔明瞭に心がけて伝えた。
研修・視察	ある程度、明確な目的を持って参加したが、まだ活かしきれていない。
議会改革	誠意を持って取り組んだ。住民への対応はできた。
ひとこと!	議会改革に向けて、できることから活動、行動していきたい。

こだ ひでかつ
小田 英勝 72歳 当選5回

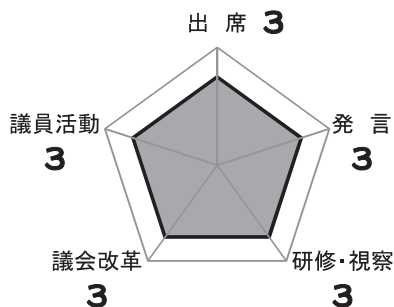


- ・総務常任副委員長
- ・議会広報特別委員

わたしの
得意分野は

農業

行政



発言	十分に発言したとは思えないが、まずはまずだと思う。
議会改革	全力かという疑問符が付くが、議会報告会などは参考になった。
議員活動	まずはまずできた。100%とは思わない。
ひとこと!	町の財政難を踏まえ、いかに各部門のコストダウンを考えるべきか。

わたなべ ふくま
渡辺 富久馬 76歳 当選3回

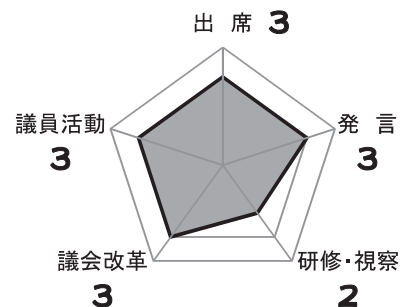


- ・産業常任委員
- ・議会運営委員

わたしの
得意分野は

教育

福祉



研修・視察	研修後の活動については、活かすに至らなかった。
議会改革	実施してみて、各種問題点が出てきた。解決に向けて活かすべきと思う。
議員活動	ふさわしかったかは町民が判断するもの。町民の意見は現場でしっかり把握したつもりである。
ひとこと!	議会改革を試行錯誤しながら、次年度に向けて問題点が明確になったものから取り組んでいく。

はたて けいこ
旗手 恵子

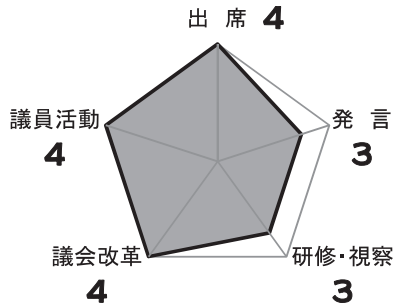
70歳 当選11回



- ・総務常任委員長
- ・議会広報特別委員

わたしの得意分野は

福祉
教育



発言	自分の考えを発言できたと思う。
研修・視察	直接話を聞いたり、見たり、学んだことは多かった。今後活かしたい。
議会改革	議会報告会など、いかに伝えるか苦勞した。
ひとこと!	町民の思いに寄り添った活動に努めたい。

おだ まさじ
小田 雅二

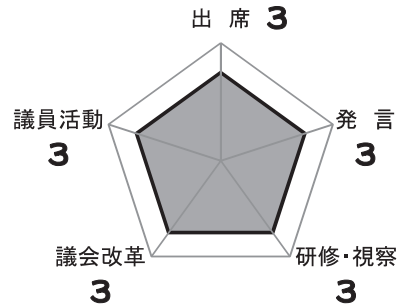
67歳 当選6回



- ・総務常任委員
- ・議会運営委員長

わたしの得意分野は

商業
教育



出席	特段の急務以外は概ね出席している。
議会改革	改革の規則的な整備にプラスして、質問者としての意識改革に努力が必要。
議員活動	もっと他業種、他分野の人々からの意見や考えを求めるよう努力すべきだった。
ひとこと!	質疑の結果や効果がどのような形で表れているのか検証していきたい。

ほりた しげお
堀田 成郎

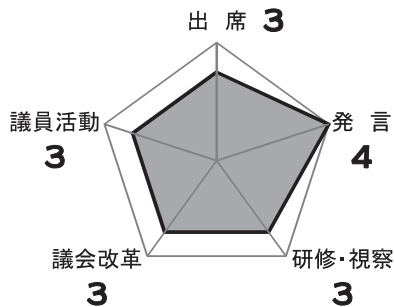
51歳 当選3回



- ・議長
- ・十勝圏複合事務組合議会議員
- ・十勝環境複合事務組合議会議員
- ・とかち広域消防事務組合議会議員

わたしの得意分野は

産業振興
教育



研修・視察	視察、研修については勉強になったが、議員としてその活動を自らでは評価しにくい。
議会改革	取り組みとしては目に見えたものができたと思うが、未だ道は遠い。
議員活動	概ねできたと考えているが、本来の評価は町民の皆さんにされるものである。
ひとこと!	議長として1年間どうであったか。来年はより具体的な行動の年としたい。

はまがしら まさる
浜頭 勝

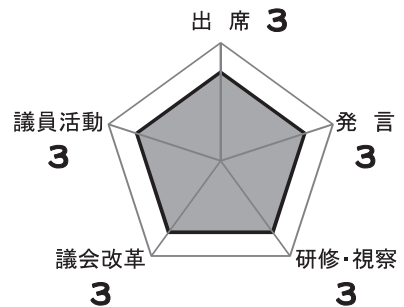
59歳 当選3回



- ・副議長
- ・総務常任委員
- ・議会広報特別委員
- ・とかち広域消防事務組合議会議員

わたしの得意分野は

水産
教育
行政



発言	いろいろな会議等での発言など、概ねできた。
研修・視察	即結果とはならないが、今後の活動に活かせるものであった。
議員活動	日頃から多くの方の意見を聴き、活動している。
ひとこと!	町民の意見を広く聴き、町政の課題へ取り組んでいきたい。

新国保制度

議員研修を 実施

議員報酬

平成30年度から始まる国民健康保険の新制度について、12月の議員協議会で説明を受けた際に「もっと詳しく内容を説明してほしい」との声が出たことを受けて、齊藤美津雄住民課長を講師に、制度概要や保険料の見直し内容などについて研修しました。



齊藤住民課長

9月定例会で設置した「議員定数等に関する調査特別委員会」での議論を始めるに当たり、十勝管内他町村の状況について学ぶため、十勝町村議会議長会が平成28年度に調査研究を行った「議員報酬（月額）『十勝標準』の試算」について、同会の伊藤俊昭事務局長を講師に招き、その内容について研修しました。



十勝町村議会議長会 伊藤事務局長

議会モニター会議

議会モニター6人、議員7人が出席して、議会・議員活動や議会運営などについて意見を交換しました。

議場 de ジャズ

石原 ネット中継のカメラを、子どもたちの方だけではなく客席の方にも向けてほしかった。

會川 子どもたちも楽しそうに演奏していた。こういった機会を継続していただければ。

議会 当日は予想より多くの人が来てくれた。会場設営など次回に向けて改善すべき点もあった。次年度もイベント開催を検討しているので、活かしていきたい。

議員の自己評価

酒井 年度当初に各議員が目標を設定して、そ

れに対して達成できたか評価するやり方を検討してみては。

議会 議員各々で評価のレベルが異なることもあり、自己評価は非常に難しい面もある。自己評価と町民の感じ方にギャップがあることを認識できるよききっかけになると思う。

国保病院

下森 特別委員会での議論がお金の話だけになるようでは厳しい。信頼が持てる病院になるのが、議員はどう考えているのか。

會川 できるだけ多くの町民から意見を聞くべきではないか。

議会 非常に重要な問題なので、議会としても真剣に取り組んでいく。意見を聞く機会を多く作っていきたい。

その他

菊地 議員の思いや考えは常にごくかで見える形になっているのか。選挙の時だけではなく、自己評価を行う時にそういうものもわかるようにした方がよいのでは。

大庭 議員にもいろんな意見がある人がいた方がよい。同じ意見ばかりではダメ。そのために選挙がある。

下森 夜間や土日に議会を開催することは検討しているか。



次のページは「議会改革実施状況・H29議会活動状況」

※議会モニター

議会・議員の活動や議会運営などについて町民からの意見をいただくため、委嘱しています。現在のモニターは6人（酒井敏夫さん、下森孝俊さん、石原由紀江さん、會川英二さん、大庭ひとみさん、菊地亜希さん）で、任期は平成31年5月までです。（2年間）



平成29年は何をした？

議会改革

新たな取り組みを

着実に実施

議会報告会

議会・議員の活動を議員自らが町民に説明する「議会報告会」を開催しました。

議員が2班に分かれて町内6会場で行い、参加者は129人でした。議会活動報告や町の財政状況について説明し、意見交換を行いました。



初の試みだった議会報告会
運営上の課題は次回開催に活かします

議員研修会

議員の資質向上を図るため、独自の研修会を開催しました。(11人参加)
議会広報編集に欠かせない「文章の要約」、「見出しのつけ方」、「レイアウト」について講義・演習形式で研修を行いました。

研修はこう活用！

9月から、議会広報に掲載する一般質問の見出

しについて、より良くなるよう議会広報特別委員会で案を考えて修正する取り組みを始めています。

レポートの提出

議員研修や委員会行政視察等に参加した議員は、事後レポートを提出することとしました。

提出されたレポートは議会広報や町ホームページに掲載して町民に周知しています。

議場deジャズ

普段なかなか入ることのない議場を町民に開放して足を運んでもらうことで、議会をより身近に感じてもらいたいという狙いから、議場でジャズコンサートを行いました。

出演 広尾サンタランド・ジャズブスクール

※12ページに関連記事



継続は力なり

修等における各議員の出欠状況。

会議録の公開

町ホームページで本会議、予算・決算特別委員会の会議録を公開しています。(公開時期は各会議の約3か月後)

インターネット中継

インターネットの映像配信サービスを利用して、本会議または本会議場で開催される委員会の生中継、録画中継を実施しています。

議会モニター

議会の運営等に関し、町民からの要望や意見を聞くため、議会モニターを6名委嘱しています。(委嘱期間…2年間)

議会情報の公開

以下のことについて、議会広報や町ホームページで公表しています。

議会懇談会

3班集体で、町内各種団体との懇談会を3回開催しました。

①議案賛否
人事案件を除く賛否のあった議案について、議員それぞれの賛否状況。

- ① 広尾高校生徒会(2月)
- ② 漁協女性部(2月)
- ③ 商工会女性部(3月)

②議員の出欠状況

本会議、各委員会、研



平成29年 広尾町議会の活動状況

※平成29年 1月～12月

1. 本会議開催状況

	回数	会議日数	付議事件数	傍聴者数
定例会	4回	15日	151件	22人
臨時会	3回	3日	8件	
合計	7回	18日	159件	22人

2. 付議事件数・議決結果

(単位：件)

区分	提出者	種類・件数	議決結果・件数		
定例会	町長	条例	29	原案可決	29
		予算	47	原案可決	47
		決算	10	認定	10
		人事案件	13	同意 適任	12 1
		契約	3	原案可決	3
		専決処分	9	承認 報告	5 4
		その他	16	原案可決 報告	10 6
	小計		127	小計	127
	議員	条例			
		意見書	13	原案可決	13
		規則			
		その他	6	原案可決 その他	2 4
	小計		19	小計	19
	委員会	条例	1	原案可決	5
その他		4			
小計		5	小計	5	
定例会計		151		151	
臨時会	町長	条例			
		予算	4	原案可決	4
		人事案件			
		専決処分			
	契約	4	原案可決	4	
	小計		8	小計	8
	議員	条例			
その他					
小計		0	小計	0	
委員会	その他				
臨時会計		8		8	
年間件数		159		159	

3. 一般質問

区分	定例会				延べ人数	実人数
	第1回	第2回	第3回	第4回		
質問者数	6人	4人	4人	4人	18人	8人

4. 委員会開催状況

委員会名	会期中	閉会中	計	
総務常任委員会	0日	5日	5日	
産業常任委員会	0日	5日	5日	
議会運営委員会	1日	4日	5日	
特別委員会	予算審査	10日	0日	10日
	決算審査	4日	0日	4日
	議会広報	0日	12日	12日
	議員定数等調査	1日	0日	1日
合計	16日	26日	42日	

5. 研修・視察活動等

① 議員研修会

日程	参加人数	研修地	内容
6/20	11人	広尾町	広尾町議会議員研修会 広報作成研修（講義・演習）
7/4 ～5	11人	札幌市	北海道町村議会議長会主催 講演（2名）
11/7	10人	更別村	十勝町村議会議長会主催 事例発表（土幌高校）

② 常任委員会行政視察

区分	日程	参加者	視察先	内容
総務	11/15	委員 6人	本別町	住民主体の福祉施策の取り組みについて
			足寄町	認定こども園の運営について
産業	11/17	委員 6人	新得町	障がい者の就労対策について
			安平町	生活環境に配慮した大規模農場の取り組みについて
産業	10/24 ～25	委員 4人	札幌市	十勝沿岸における有効な栽培 漁業とマツカワ種苗供給の見 通しについて

6. 意見書の可決状況

区分	定例会				合計
	第1回	第2回	第3回	第4回	
可決件数	2件	4件	5件	2件	13件

議会活動日誌

平成29年12月～平成30年2月

【12月】

- 1日 第5回議会運営委員会
- 5日 第4回広尾町議会定例会（～8日）
- 7日 議場 de ジャズ
- 8日 第7回議員協議会
議会広報編集会議
- 10日 長崎県西海市姉妹交流事業懇親会
- 22日 十勝管内市町村議会議長・副議長意見交換会（帯広市）
- 26日 広尾町消防団歳末特別警戒激励

【1月】

- 3日 はたちのつどい
- 4日 広尾町消防団「新年出初式」
- 5日 広尾漁業協同組合初競り
- 6日 立憲民主党北海道第11区総支部設立パーティー（帯広市）
- 9日 新年交礼会（町主催）
- 10日 十勝毎日新聞社年賀会（帯広市）
- 11日 第1回総務常任委員会
船霊祭
- 14日 アイスストッカーひろお大会
北海道議会議員 池本柳次 新年交礼会（音更町）
- 20日 第4普通科連隊第2中隊と2町新年交礼会
- 21日 北海道議会議長 大谷亨 十勝連合後援会新年交礼会（帯広市）
- 22日 交通安全署名簿奉納及び交通安全祈願祭
㈲北藤ファーム新築牛舎完成竣工式・祝賀会
広尾町商工会永年勤続優良従業員表彰式典
- 23日 第1回広尾町議会臨時会
第1回議員協議会
第1回議会運営委員会
第1回国保病院のあり方に関する調査特別委員会
平成29年度第2回広尾町議会議員研修会（管内町村議会議員報酬等の現状）
第1回議員定数等に関する調査特別委員会
- 26日 議会モニター会議
- 28日 北海道議会議員 喜多龍一 と新春道政を語る会
- 30日 第1回産業常任委員会

【2月】

- 3日 長崎県西海市小学生親善交流団来町歓迎式
- 6日 コミュニティ・スクール制度町民説明会
- 7日 議会広報編集会議
- 8日 高校生議会
平成29年度第3回広尾町議会議員研修会（国保の新制度）
- 12日 衆議院議員 石川香織 新年交礼会（帯広市）
- 15日 第1回議会広報特別委員会
- 18日 広尾町商工会青年部設立50周年記念式典・功労者表彰及び祝賀会
- 23日 広尾町森林組合通常総会
十勝町村議会議長会定例会（帯広市）
- 26日 南十勝複合事務組合議会定例会（大樹町）
- 27日 米沢のりひさまちづくり報告会（帯広市）
- 28日 十勝圏複合事務組合議会定例会（帯広市）
十勝環境複合事務組合議会定例会（帯広市）
とかち広域消防事務組合議会定例会（帯広市）

閉会中の所管事務調査

各常任委員会と議会運営委員会は、平成30年第1回定例会までの閉会中に、次の所管事務調査を実施します。

◇総務常任委員会

- ①第7期広尾町高齢者保健福祉計画・広尾町介護保険事業計画について
- ②第2期広尾町障害者計画について

◇産業常任委員会

- ①エゾシカ被害及び捕獲の状況と有効活用の取り組みについて
- ②陣屋大橋（仮称）の工事進捗状況と供用開始の見込みについて

◇議会運営委員会

- ①議会の運営に関する事項について
- ②議会の基本条例、会議規則等に関する事項について
- ③議長の諮問に関する事項について

今回は高校生が提案した4つのまちづくりに関するテーマについて、高校生・議員・町職員が議論を交わす形式で実施しました。

はじめは議場の雰囲気は緊張していた高校生でしたが、徐々にいつもの持ち味を発揮。

観光や町の将来についてなど4つのテーマについて意見交換を行い、高校生からは「バレンタイン時期にイルミネーション

みんなでまちづくりの議論を



高校生議会を開催



ンを点灯しては、「るるの2階空きスペースを有効活用して、人が集まれる場所づくりを」など、今後活用できそうな意見が多く出されました。

※詳細は、4月1日発行予定の高校生議会速報でお知らせします。

※広尾町のホームページで録画中継を見ることができまので、ぜひご覧ください。